

※サンプルは2023年の内容のため一部変更になる場合がございます。
SDGs経営の結果掲載日に2024年の内容に更新いたします。ご了承ください。

「日経SDGs経営調査」 総合レポート プレミアム編

NIKKEI
SDGs

I. サステナビリティに関する情報開示

II. GX

III. 外部からの評価

にフォーカスした分析を、貴社のSDGs戦略の立案・見直しにご利用ください。

※総合レポートには、評価レポートが含まれます。

I. サステナビリティに関する情報開示

I-1. 取組と開示のギャップ

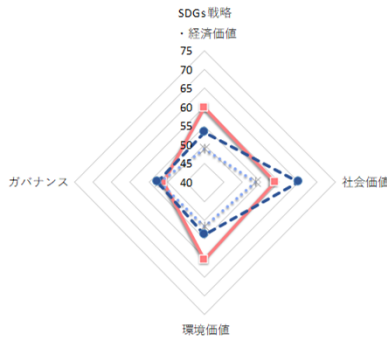
I. サステナビリティに関する情報開示診断

1. 情報開示の偏差値

SDGs経営調査の設問のうち、情報開示に関する設問のみの得点を合算し、情報開示の評価を算出しました。また、総合、SDGs戦略・経済価値、社会価値、環境価値、ガバナンスの各分野の偏差値を掲載しております。

	総合	SDGs戦略・経済価値	社会価値	環境価値	ガバナンス
貴社偏差値 開示	60.1	59.9	58.8	60.5	51.0
業種平均偏差値 開示	51.6	48.8	53.5	51.7	52.2
指定企業平均偏差値 開示	53.9	53.3	65.0	53.8	52.6

— 貴社偏差値 開示
◆ 指定企業平均偏差値 開示
■ 業種平均偏差値 開示



貴社業種 (AQ1回答)	〇〇業
貴社指定企業 (計10社)	A社、B社、C社、D社、E社、F社

SDGs戦略・経済価値	貴社偏差値	偏差値 差
事業との関連 (事業が与えるインパクトの開示)	68.8	4.5
経営トップによる発信 (トップメッセージの公開、内容の充実)	57.7	0.4
社会価値	貴社偏差値	偏差値 差
人権方針 (人権方針の開示)	62.2	4.0
人権デュー・デリジェンスの実施 (人権リスク、人権デュー・デリジェンス実施状況の開示)	61.2	0.1
環境価値	貴社偏差値	偏差値 差
水資源の活用 (水資源に関するリスク・機会の分析結果の開示)	62.0	1.2
リスク・機会の分析 (気候変動に関するリスク分析結果の開示内容の充実)	57.1	0.8
ガバナンス	貴社偏差値	偏差値 差
役員報酬 (役員報酬の算出方法の開示)	66.6	12.6
ホードダイバーシティ (取締役のスキルマトリックスの開示)	58.0	2.2

貴社偏差値	偏差値 差
社外開示 (推進体制の開示、サステナビリティの開示媒体の拡大)	52.2 -9.8
投資家との対話 (株主総会や決算説明会、投資家向けの説明会の実施)	55.4 -3.2
貴社偏差値	偏差値 差
苦情・救済窓口 (苦情窓口を設置していることの開示)	52.2 -10.2
人的資本開示 (人的資本に関する方針および指標・実績の開示)	49.4 -8.5
貴社偏差値	偏差値 差
水以外の資源の活用 (水以外の資源に関するリスク・機会の分析結果の開示)	2.0 -57.2
再生可能エネルギーの把握 (電力量のうち再生可能エネルギー使用量の開示)	45.5 -10.3
貴社偏差値	偏差値 差
社外取締役と投資家との対話 (社外取締役と機関投資家との面談内容を開示)	43.6 -21.7
ガバナンス方針 (ガバナンス、汚職防止・企業倫理方針の公表)	52.4 -4.7

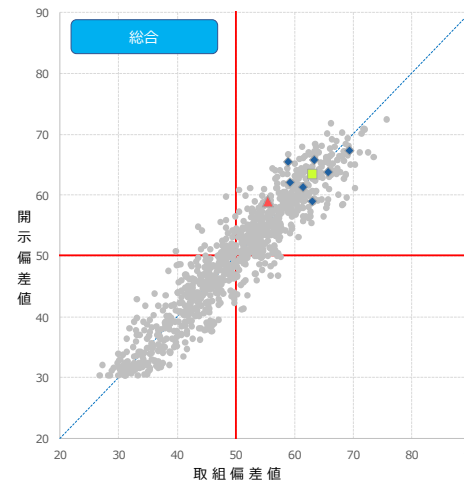
SDGs経営調査の評価項目から、取組が進んでおり情報開示の余地がある分野を算出。今後開示すべき分野を定量的に把握できます。

I-1. 取組と開示のギャップ

I. サステナビリティに関する情報開示診断

3. 貴社の取組と開示状況のポジショニング

取組偏差値と開示偏差値で散布図を作成いたしました。貴社のポジショニングがより明確に把握いただけます。



【散布図の見方】
 横軸：取組偏差値
 縦軸：開示偏差値

▲ → 貴社の評価
◆ → 指定企業各社の評価
■ → 指定企業の平均の評価

貴社のプロットと指定企業のプロット、またそれぞれのプロットの位置を比較していただくことで、貴社の取組と開示のポジショニングをご確認いただけます。

定量的な分析の結果、貴社で開示を進めることができる分野をご提案します。

II. GX

> II - 1. 脱炭素経営ランキング GX500

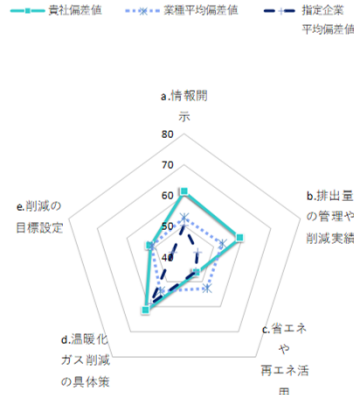
II. 脱炭素 (GX)

4. GX500の結果概要

脱炭素経営ランキングGX500の評価結果について、貴社の偏差値と貴社業種および指定企業の平均を表示しています。

	GX総合偏差値	a.情報開示	b.排出量の管理や削減実績	c.省エネや再生エネ活用	d.温暖化ガス削減の具体策	e.削減の目標設定
貴社偏差値	58.8	61.0	59.2	46.6	61.5	51.8
貴社ランク	B	BB	B	DDD	BB	C
業種平均偏差値	53.3	52.7	53.1	52.7	53.6	51.2
指定企業平均偏差値	57.2	50.1	44.5	46.0	58.9	44.2

貴社業種 (AQ1回答)	化学・石油
貴社指定企業 (計10社)	A社、B社、C社、D社、E社



NIKKEI Prime(日経プライム)でも公開したGX500について、紙面上では掲載できなかった範囲も含めて公開する予定です。また、貴社の偏差値と貴社の業種および指定企業の平均との比較が可能です。貴社のGXの達成度を、競合企業と比較して確認いただくためにご活用いただけます。

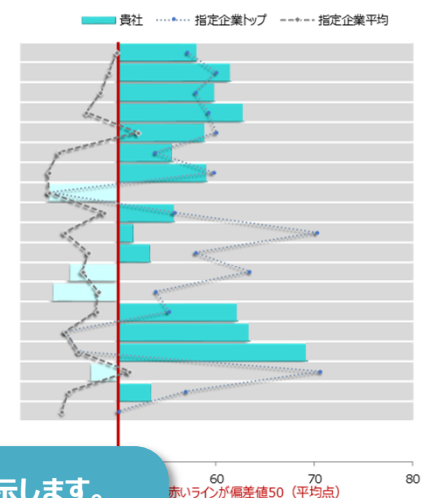
> II - 1. 脱炭素経営ランキング GX500

II. 脱炭素 (GX)

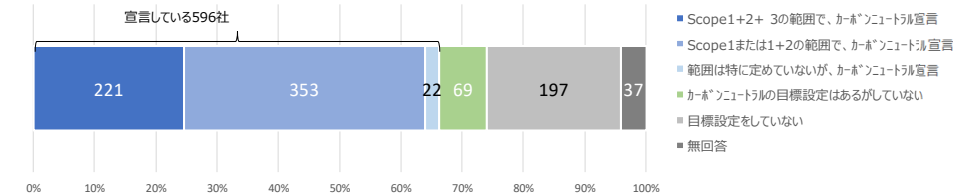
8. GX500 小分類偏差値

指定企業平均と比較することで、自社が進んでいるか・進んでいるかが分かります。さらに指定企業トップと比較することで、進んでいる分野においても、更なる改善の伸びしろが分かります。※指定企業トップは、項目ごとに最も高い評価を表しています。総合評価が最も高い企業とは限りません。

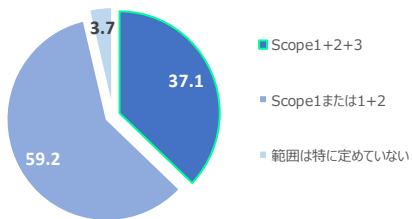
情報開示	貴社	指定企業平均		指定企業トップ	
		偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ
リスク・機会の分析	58.0	49.9	8.1	57.1	0.9
リスク・機会の開示内容	61.4	49.1	12.3	60.0	1.4
温暖化ガス排出【Scope1,2】の把握	59.8	48.2	11.6	57.9	1.9
温暖化ガス排出【Scope3】の把握	62.7	46.8	15.9	59.2	3.5
温暖化ガス排出【Scope1,2】の実績・見込	58.8	52.0	6.8	60.0	-1.2
温暖化ガス排出【Scope3】の実績・見込	55.5	44.0	11.6	53.8	1.7
温暖化ガス排出【原単位】の実績・見込	59.0	42.9	16.1	59.7	-0.7
カーボンクレジット購入実績	42.9	42.9	0.0	42.9	0.0
消費電力量の把握	55.7	48.5	7.2	55.7	0.0
再生可能エネルギーの把握	51.6	44.5	7.1	70.2	-18.6
電力量の実績・見込	53.3	46.9	6.4	57.9	-4.6
再生可能エネルギーの実績	45.0	46.4	-1.4	63.4	-18.4
再生可能エネルギーのうち証書購入量	43.3	48.0	-4.7	53.9	-10.6
脱炭素に向けた取り組み	62.1	47.8	14.3	55.2	6.9
カーボンフットプリント	63.3	44.6	18.7	44.6	18.7
ESG値の発行	69.1	46.0	23.1	46.0	23.1
脱炭素の自社外での貢献	47.2	51.1	-3.9	70.6	-23.4
削減の目標設定	53.4	45.0	8.4	56.9	-3.5
削減の長期目標	50.0	44.3	5.8	50.0	0.0



<カーボンニュートラル宣言をしている企業数>



<宣言している596社の範囲の内訳>



カーボンゼロまたはカーボンマイナス宣言をしている企業は、回答企業全899社のうち、596社でした。また、その範囲にScope 1～3のすべてを含む企業は、221社（宣言している企業のうち、37.1%）となりました。

本章では、Scope 1～3すべてを宣言の範囲としている企業を「GX推進企業」と定義し、SDGs経営調査の回答を分析します。

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

カーボンニュートラル宣言の状況を一覧で示します。回答内容を開示可として企業に限りませんが、全企業の宣言の状況を一覧でご覧いただけます。

Ⅲ. 外部からの評価

3. SDGs経営調査—事業によるSDGsへの貢献が優れている企業

Ⅳ. 外部からの評価

SDGs経営調査のEQ58において、調査回答企業より「事業によるSDGsへの貢献について、優れていると思う企業」を3社まで挙げていただきました。貴社の得票数の順位・選定理由、指定企業の順位・選定理由を掲載しております。選定理由は全回答から一部抽出したものです。

<貴社>

順位	得票数	選定理由（企業の回答より※一部改変）
40	5	~~~~~ ~~~~~

<指定企業>

企業名	順位	得票数	選定理由（企業の回答より※一部改変）
A社	35	7	~~~~~
B社	20	55	~~~~~
C社	17	60	~~~~~
D社	10	80	~~~~~
E社	1	110	~~~~~
F社	15	71	~~~~~
G社	50	3	~~~~~
H社	50	3	~~~~~

【SDGs推進担当者からの評価】

SDGs経営調査のEQ58で、回答いただいた企業の皆様に「事業によるSDGsへの貢献が優れている企業」を3社までお選びいただいています。

投票の多かった企業をランキング形式で公表します。また、貴社と指定企業については、公表外であっても得票数と順位・投票された理由をご覧くださいことができます。

Ⅳ-2. ビジネスパーソン、生活者別の貴社と指定企業に対する評価

1. SDGs貢献への期待度 ランキング（上位41社）

「SDGsの達成に貢献していると思うか」という質問に対し、「非常にそう思う」=5点、「まあそう思う」=3点、「あまりそう思わない」=-3点、「まったくそう思わない」=-5点、「どちらとも思わない」「よくわからない・知らない」=0点を与えて回答者数で割った平均値をスコアとして算出。ビジネスパーソン（以下、BP）と生活者のスコアを合算し総合スコアとしました。

企業名	総合		BP	生活者
	順位	スコア	スコア	スコア
1	1.19	0.54	0.65	
2	1.15	0.66	0.49	
3	1.13	0.55	0.58	
4	1.10	0.56	0.54	
5	1.01	0.54	0.47	
6	1.00	0.44	0.56	
7	0.95	0.43	0.52	
8	0.92	0.47	0.45	

企業名	総合		BP	生活者
	順位	スコア	スコア	スコア
22	0.76	0.31	0.45	
22	0.76	0.29	0.47	
22	0.76	0.39	0.37	
22	0.76	0.37	0.39	
26	0.75	0.42	0.33	
27	0.74	0.48	0.26	
28	0.73	0.45	0.28	
28	0.73	0.36	0.37	

※社名はレポート
でご確認ください！

Ⅲ-2. ビジネスパーソン、生活者別の貴社と指定企業に対する評価

Ⅲ. 外部からの評価

3. SDGs貢献への期待度 貴社と指定企業の評価②

ブランド力調査で「SDGsの達成に貢献していると思うか」という質問に対し、ビジネスパーソンと生活者のそれぞれについて、「非常にそう思う」「まあそう思う」の回答割合を合算したものを右側（赤）に、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の回答割合を合算したものを左側（青）で表示しています。



【ビジネスパーソン・消費者からの評価】

SDGs経営調査とは別に、ビジネスパーソン・消費者から、SDGsや脱炭素への貢献期待度を聴取する、ブランド調査を実施しました。

スコアの高い企業をランキング形式で公表します。また、貴社と指定企業については、公表外であってもスコア・順位をご覧くださいことができます。貴社の取組が外部からどのように評価されているかを把握するための資料としてご活用いただけます。